

津市消防職員意見発表会を開催



津市消防職員意見発表会で熱弁をふるう若林消防士

津市消防本部では、二月二十
六日、消防職員の資質向上と自
己研鑽を図るため、「津市消防職
員意見発表会を開催しました。
当日は発表会に選出された各所
属の消防職員九名が、「消防防災
に関すること。」をテーマに
一人五分以内で発表を行いました。

発表会では、阪神・淡路
大震災を経験した女性消防
職員の切実なる命の尊さの
訴えや自主防災組織の重要
性など、災害現場での体験
や日頃の業務での問題点な
ど、発表者一人ひとりから
職務に対する強い使命感や
思いやりの心などをつなが
うことができました。

見事、最優秀賞に輝いた
白山消防署白山署の若林久
史消防士は、救急搬送の際
の傷病者受け入れを病院に
拒否された体験や、救急搬
送人員の約60%が入院加
療を要しない軽症者という

データを挙げながら、「救急患者
であふれる病院の実情を市民に
幅広く広報して、救急車の適正
な利用に協力してもらいたいこ
と大切です。」と熱く訴えました。
若林消防士は、四月十一日に
菟野町で開催されます「第31回
三重県消防職員意見発表会」に
津市消防本部代表として出場し
ます。なお、入賞者は次の皆さんです。

最優秀賞 若林久史消防士(白山署) 優
秀賞 前野雄二消防士(美里分遣所) 努力
賞 笠井敦史消防士(西分署)、田阪有記消防士
(一志分署) 以上四名

水難救助協力者 見事な連携プレーで 署長感謝状を贈呈

北消防署

三月五日、午後五時頃、白塚町の
白塚漁業協同組合白塚荷さばき施
設南東の防波堤付近で発生した水
難救助事案で、緊迫した状況の中、
尊い命を迅速・適確な連携プレーに
よって救助した功労を称え、内藤正
信さん(白塚町)、松本明久さん(河
芸町)、古市英之さん(河芸町)、稲
垣大輔さん(白塚町)、伊藤秀義さ
ん(白塚町)、小久保篤幸さん(鳥
羽市神島町)、山中一三さん(白塚
町)の七名に、池村和博津市北消防
署長から感謝状が贈呈されました。
救助内容は、同防波堤付近へ水質
検査に来ていた市内の女子大学院



贈呈式出席者は左から、山中さん、伊藤さん、古市さん、松本さん、内藤さん

生が誤って海に転
落し、必死に防波
堤の壁面にしがみ
ついているのを内
藤さんが発見、一
人での救助は無理
と判断、同所の駐
車場にいた松本さん、古市さんに救
助の協力を依頼、松本さんと古市さ
んは持つていた自動車用牽引ロー
プ先端を環状にして降下させ、転落
した女性の上半身に結着し、防波堤
先端から波消しブロックまで引つ
張りました。第一発見者の内藤さん
は、再度同漁港へ協力を求める途中、
同漁港内にいた山中さんに一九九
番通報を依頼、内藤さんは同漁港内
にいた漁師の稲垣さん、伊藤さん、
小久保さんに依頼して、転落者を波
消しブロックから防波堤上に引揚
げ、交互に背負い搬送して同署救急
隊に引き継ぎました。

救助にあたった松本さんらは、
「助けることができると本当によかつ
た。」とうれしそうに語っていました。
また、池村北消防署長は、「水
難救助事案は一刻を争います。一
致連携して
スピーディ
ーに尊い命
を助けてい
ただき、心
より感謝い
たします。」
と述べまし
た。



池村北消防署長から感謝状を受け取る内藤さん

中署 有事に備えて 津市役所本庁舎で消防訓練を実施



市職員に負傷者の搬送法を指導する中消防署員

二月十九日、西丸之内の
津市役所本庁舎で、地下の
職員食堂の厨房から出火
したという想定で、消防訓
練が行われました。
訓練では、市職員が来庁
者や負傷者を適確・迅速に
安全な場所への避難誘導な
どや、また、消火器や庁舎
内に設置されている屋内消
火栓を使って初期消火訓練
が本番さながらに行われま
した。
業務の合間をぬって参
加した市職員は約百名で、
平成十八年一月の市町村合
併による人事異動などで初
めて参加した市職員の真剣
な表情から、いつ発生する
かわからない災害に対して
確実に防災意識が高まって
いる様子をつかがうことが
できました。

あなたも いざというときに備えて 救命講習会を受けましょう。